

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年 2月12日（水）

2 確認箇所

濃縮廃液貯槽（Dタンクエリア）

3 確認項目

濃縮廃液の保管状況

4 確認結果の概要

蒸発濃縮装置（平成23年12月まで使用）から発生した濃縮廃液を貯留しているDタンクエリア（図1）の現況を確認した。

なお、濃縮廃液は、H2タンクエリアの鋼製横置きタンク（ブルータンク）でも貯留しているが、H2タンクエリアのブルータンクについては、1月15日に現況を確認している。

- Dタンクエリアには、溶接型タンク（容量：1,000m³）が41基設置されており、そのうち10基が濃縮廃液の貯槽として使用され、19基がRO濃縮水貯槽（1基は雨水RO濃縮水貯槽）及び12基がRO処理水（淡水）貯槽として使用されている。その他に3基（容量18m³×2基、容量10m³×1基）の雨水RO濃縮水移送関係のタンクが設置されている。（図2、写真1）
- 濃縮廃液貯槽のエリアとRO濃縮水貯槽及びRO処理水（淡水）貯槽のエリアは鋼製の堰により区画されており、濃縮廃液貯槽とRO濃縮水貯槽との連結管は取り外されて縁切りされていた。（写真2）
- 確認した範囲では、タンクからの漏れや鋼製堰の破損は認められなかった。

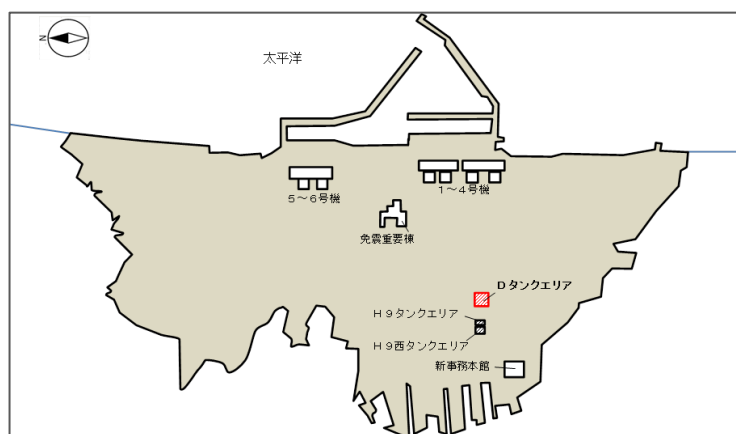


図1 福島第一原子力発電所構内概略図

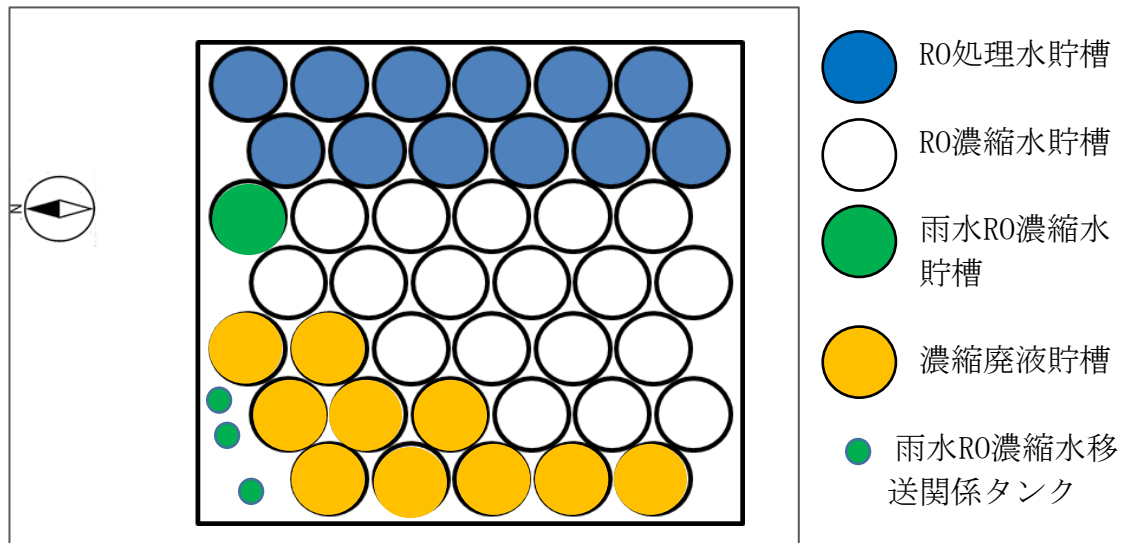
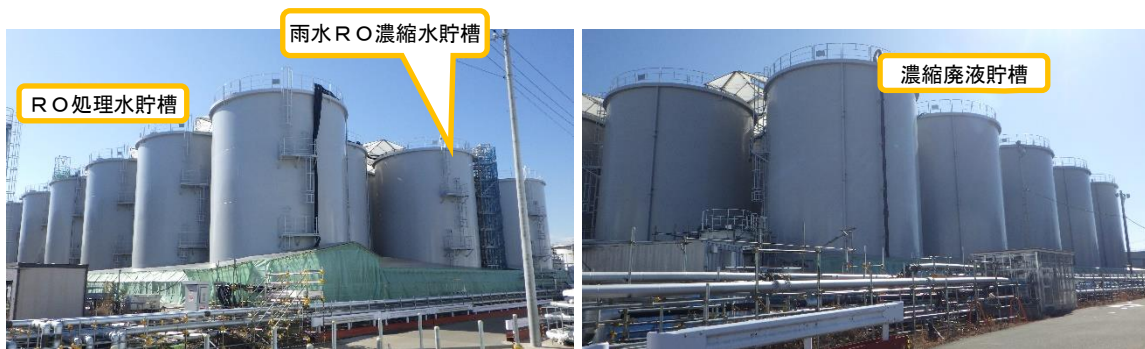
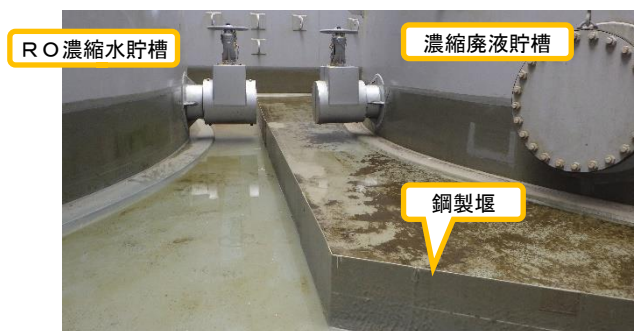


図2 Dタンクエリア配置図



(写真1-1) Dタンクエリア外観①
(北東側から撮影)

(写真1-2) Dタンクエリア外観②
(北西側から撮影)



(写真2)
濃縮廃液貯槽の状況

5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。